

山形もがみ温泉郷

瀬見温泉散策マップ

小国川の豊かな清流に臨む、
義経のロマン薫る伝説の湯。

小国川の左岸に開けた静かなたたずまいの温泉。
源頼朝の追っ手を逃れて平泉をめざしていた
義経一行が発見したという伝説が語り継がれています。
古くから新庄の奥座敷としてにぎわってきた
瀬見温泉には、懐かしさを感じさせる
風情とぬくもりがあふれています。

至大崎市
鳴子温泉

商店・飲食店

- 1 大黒屋商店
- 2 寿し 庄内館
- 3 奥山菓子舗
- 4 佐藤酒造店
- 5 おとり鮎・遊魚券販売所八嶽
- 6 やまや食堂
- 7 伊藤食料品店
- 8 フラワー美容室
- 9 田中しそ巻加工所
- 10 瀬見ドライブイン
- 11 井上床屋
- 12 鈴木商事
- 13 東海林商店
- 14 瀬見観光タクシー
- 15 丸平パーマ
- 16 遠藤製パン工場

旅館

- 1 喜至楼
- 2 旅館 小川屋
- 3 旅館 ふじ館
- 4 四季の宿 まごろく
- 5 松葉館
- 6 エビス屋旅館
- 7 旅館 ほてい屋
- 8 ゆめみの宿 観松館



URL <http://semi-onsen.com>

公共施設

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 いやしの散歩道 | 7 JR瀬見温泉駅 |
| 2 湯前神社(飲泉所・足湯) | 8 瀬見駐在所 |
| 3 ふかし湯 | 9 瀬見発電所 |
| 4 朝市 | 10 川の駅 ヤナ茶屋 |
| 5 三吉山自然植物園 | 11 景観スポット |
| 6 瀬見郵便局 | 12 トレッキングコース入口 |

11まで約15分



7 弁慶の硯石

〔まんけいのすずりいし〕
亀若丸のをつける時、弁慶が硯として磨き出す岩。近く、弁慶の足跡や馬の足跡のついてい



5 山神社

〔やまのかみしや〕
産屋を建て、北の方がはばらく養生した所、後に村人が山神社の祠を建てた。弁慶が髪を掛けて休んだ枝(髪を掛けた)が近くにあつたといわれている。



3 亀割子安観音

〔かめわりやすかんのん〕
北の方がお産をした産に加護のあつた観音様を祀つて、子連れかりと安産の神として信仰されて



1 産湯

〔うぶゆ〕
弁慶が若割つて見つけ出した温泉は、今の薬研湯で自然の岩風呂である。産湯のモリマンは飲泉が可能。



8 弁慶の投げ松

〔まんけいのなげま〕
弁慶が亀若丸の誕生を祝つて、峠の頂上から投げた松が瀬見温泉から温泉に向かう途中に根付いて



6 判官橋

〔ほうがんたせ〕
北の方のお産の肥立ちまでの間、見はりをしていた所、笈の沢を上つた西側。



4 奥の院

〔おくのいん〕
峠の頂を越えた所で北の方がお産した。水をほしがかる北の方のために弁慶が法螺貝を大地にたたきつけて神位に折れ、聖水を得た。後の「子安の清水」。法螺貝は「子安貝」と化して、今も峠の間から時折発見される。「義経北の方御産の跡」の石碑がある。和子は峠の名から「亀若丸」と命名。亀若丸が使つた枕石「子枕石」が峠の中腹に残っている。



2 薬研湯

〔やげんのゆ〕
産湯を深し谷川を下つた弁慶が川辺に湯煙を嗅ぎつけた。なごなごなごを嗅いだところ、温泉が湧き出てきた。

瀬見温泉には、義経・弁慶に関する伝説が数多く残っています。
室町時代に書かれたとされる、義経一代記「義経記」によると、兄源頼朝の追っ手を逃れ岩手県平泉に向かう途中、文治三年(一一八七)に、最上地域を通つたとされています。なかでも瀬見温泉周辺には、義経の子「亀若丸」の誕生に加護があつたという子安観音や弁慶の笈掛け松といった義経主従にまつわる数かずの伝説、旧跡が残されています。
悲劇の武将として伝えられる義経に、哀れみと親しみを感じ、各地に伝説が残つたのではないかと考えられます。遠く平安時代に思いをはせ、伝説の場所へ足を運んでみませんか。

瀬見温泉に残る
義経・弁慶の足跡をめぐる
義経・弁慶
伝説ガイド

